

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、Levy財務相の辞任観測を巡る不透明感が重石となった他、公表されたブラジル9月小売売上高が前月比0.5%安と8ヶ月連続のマイナスを記録したことで、一時3.82台半ばまでレアル安が進行。しかし、引けにかけては米連銀総裁から、「米利上げ後の引き締めは緩やかに進めるべき」との発言が相次いだためレアルの買戻しが優勢となり、3.77台前半で取引を終えた。シカゴ連銀のエバンス総裁は、「利上げの開始時期に関わらず、米金融当局は利上げペースが漸進的になることを明確に示す必要がある」と述べた他、「FF金利誘導目標を2016年末まで1%を下回る水準に維持することが適切である」との見解を示した。また、ニューヨーク連銀のダドリー総裁も「利上げの条件が近く満たされる可能性がある」と発言する一方、「利上げが始まった後、引き締めペースはかなり緩やかになる」と予想した上で、「金融政策はFF金利の低水準が示すほど景気刺激的ではない」と説明した。

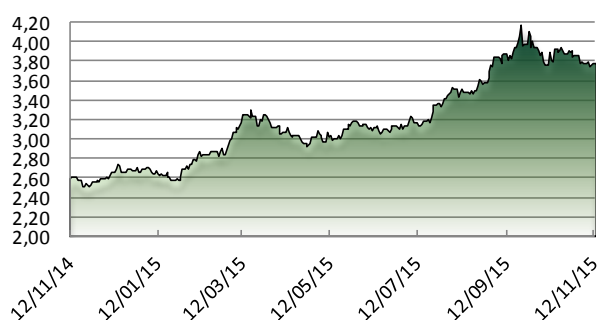
ボベスパ指数は前日比0.4%安と3日ぶりに下落。ブラジル経済が深刻な景気後退に陥る中、鉄鋼大手のウジミナスは昨日、事業規模の縮小や資産売却の他、既存銀行融資の借り換えを進めざるを得ないことを明らかにした。中国の景気減速に伴い、鉄鋼需要が低迷するとの懸念が拡大していることも影響している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月11日	11月12日	前日比	10月9日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,7610	3,7711	+0,0101	3,7633	+0,0078
	対円	JPY	32,65	32,52	-0,13	31,97	+0,55
	対ユーロ	BRL	4,0403	4,0706	+0,0303	4,2723	-0,2017
円	対ドル	JPY	122,86	122,61	-0,2500	120,27	+2,3400
	対ユーロ	JPY	131,98	132,58	+0,60	136,61	-4,03
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	47.065	46.884	-181	49.338	-2.454
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	407,9	425,2	+17,3	410,8	+14,4
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,45	15,45	+0,00	15,65	-0,20
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,47	15,54	+0,07	15,56	-0,02
3 Months US Dollar Libor		%	0,359	0,359	+0,000	0,321	+0,038
CRB Index (国際商品指数)		Index	188,3	186,4	-1,9	202,7	-16,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

